

徳島大学 薬学部/大学院薬学研究科 海外協定校 公開講演会 (2025 年 1 月) 開催概要
(2024 年 11 月 30 日現在)

開催日時：2025 年 1 月 24 日 (金) 13:00 – 15:00

会場：徳島大学長井記念ホール

私たちは PFAS とどのように向き合うか？ How do we deal with PFAS?
～基礎知識からリスク評価の現状まで～ From basic knowledge to the current state
of risk assessment

開会挨拶：土屋 浩一郎 教授 (徳島大学 薬学部長・大学院薬学研究科長)

基調講演：吉成 浩一 教授 (静岡県立大学 薬学部 衛生分子毒性学分野)

「化学物質のリスク評価の現状と課題：PFAS を例に」

主講演：Prof. Emanuela CORSINI

(イタリア・ミラノ大学 DiSFeB Lab. Immunotoxicology, EUROTOX 次期会長)

「Forever Chemicals, Forever Consequences: Exploring PFAS Toxicity」

閉会挨拶：赤池 雅史 教授 (徳島大学 大学院医歯薬学研究部長・医療教育開発センター長)

講演会概要：

PFAS と総称される一群の有機フッ素化合物は、分解が困難で環境中に長期残留し、その一部は毒性や発がん性が報告され健康影響への懸念も広がり、世界的に規制強化の動きが強まる一方、まだよくわかっていないことも多いのが現状です。本講演会では PFAS の毒性に詳しい 2 人の研究者を招聘し、静岡県立大学の吉成教授が日本語で基調講演を、徳島大学と大学間交流協定を締結しているイタリア・ミラノ大学の CORSINI 教授 (ヨーロッパ最大の毒性学会連合 EUROTOX 次期会長) が英語で主講演を担当されます。PFAS の基礎知識、毒性や健康影響に関してわかっていること、わかっていないこと、取扱等に関する世界の動向や規制の状況などを紹介し、今後 PFAS とどのように向き合ったら良いのか、参加者とともに考える機会を提供できれば幸いです。

共催：TPN 研修会、大学院薬学研究科「医薬品安全性学特論」、薬学部能動学習 (1 ポイント付与対象)、大学院特別講義 (大学院医学研究科、医科栄養学研究科、口腔科学研究科)、全クラスターコアセミナー

協賛：日本分析化学会中国四国支部

オーガナイザー・司会進行：笠原 二郎

(徳島大学 大学院医歯薬学研究部/薬学部 神経病態解析学分野 准教授)

E-mail: awajiro@tokushima-u.ac.jp

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/ph/faculty/labo/cmp/seminar/60142.html>

